

日本の未来を 守りたい

自衛隊の活動と憲法改正

私たちの国を守ってくれて
いるのは誰ですか？

昨今、我が国を取り巻く国際情勢は一層
厳しさを増しています。このような中で、我が国
の平和と安全を維持できていることは決して
「当たり前」のことではありません。自衛隊の
ひたむきな活動と国際社会との密接な協力
体制により、我が国の平和と国民の安全は
守られているのです。

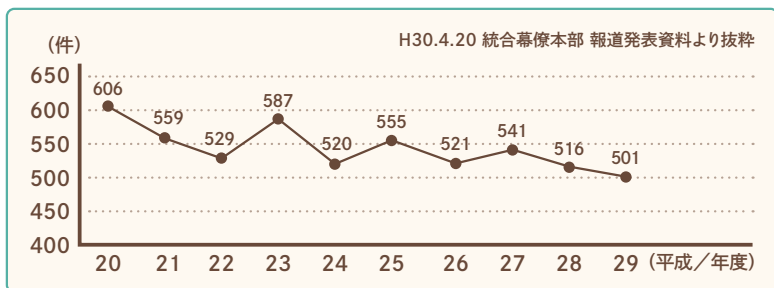


災害派遣

災害大国の我が国では、365日、「いつ」「どこで」災害が発生しても、自治体の要請を受けて、自衛隊は駆けつけてくれます。



昨今、災害による自衛隊の年間派遣数は五〇〇件を超えています。自らのことは省みず、被災者のことを第一に考えて救護救援を行っています。このような自衛隊の献身的な活動は、被災者の「身体」を癒すだけでなく精神的な支えとなっています。



自衛隊の災害派遣件数

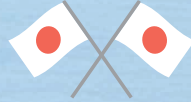
海の安全



自衛隊は日夜、領海侵犯等による諸外国の脅威から、海の安全を守っています。四方を海に囲まれた我が国では、食料品など、私たちの生活の基盤となる物資の輸入は、その九割以上が世界中に広がる海上輸送網を利用しています。海の安全を守ることが、物資の安定的な供給を支え、私たちの生活の基盤を守ることに繋がっているのです。



国防



空の安全



北朝鮮からの弾道ミサイルなど諸外国の脅威が高まる中、近年、非常時における自衛隊のスクランブル発進は大幅に増加し、平成二十九年度ではおよそ九〇〇回を観測しています。我が国では、地上における警察、海における海上保安庁に相当する「空の警察力」が存在しません。ゆえに、我が国の空の平和と安全を守ることは、自衛隊が一貫してその任務を担っており、その重責は計り知れません。





有事に備えた 厳しい訓練

災害救助や国防また
国際貢献のため、自衛
隊は日夜厳しい訓練を
行っています。



自衛隊員は入隊に際し
「事に臨んでは危険を顧
みず、身をもつて責務の
完遂に務め、もつて国民
の負託にこたえることを
誓います」と服務の宣誓
を行います。厳しい訓練
に耐えるのも、ひとえに、
有事に際して、一人でも
多くの人々を守りたいと
いう強い想いからではない
でしょうか。

国際貢献



国際社会の平和と安定を求めて、
自衛隊は「国連平和維持活動」に
参画し、人的支援の面で多大な
協力を行っています。



海外での大規模な災害
など、被災国からの要請
があった場合には、医療
活動・輸送活動・給水活
動などの「国際緊急援助
活動」を実施しています。
自衛隊は日本国内だけで
なく、世界中で幅広い活
動を展開し、多くの人々
から信頼を得ています。

自衛隊に 対する非難

自衛隊は国の平和と国民の安全を守るため、
ひたむきに任務にあたっています。

本来の国防任務はもとより、災害派遣への従事など、
昨今、自衛隊の任務は増加し

命の危険を伴うリスクも高まっています。

にもかかわらず、その存在は憲法に明記されて

いないことから、教科書の記述や七割近くの憲法学者から

「憲法違反の存在」として非難され続けています。

国内外の環境が大きく変わる中、わが国の防衛の要である

自衛隊が、不安定な状態であることは否めません。

「非難をされても、いざという時は命がけで助けてほしい」…

このままで本当に良いのでしょうか？

日本の 未来を守るために できること

国の平和と私たちの安全を守るために、命をかけて
任務にあたる自衛隊の「名誉」と「地位」を守りたい…

そう考えることはごく自然なことです。

そのためには、自衛隊の存在と位置づけを

憲法上で明確にする必要があります。

憲法改正の判断は、国会で発議された後、

国民投票によって主権者である私たちに

ゆだねられています。

日本の未来を守るために、

自衛隊の憲法明記はその第二歩です。

いま、私たちはわが国の安全と

憲法のあり方について考える時を迎えています。

神道政治連盟

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1丁目1番2号

TEL.03-3379-8282 FAX.03-6629-8321

www.sinseiren.org/

初版発行：平成31年1月20日 編集：神道政治連盟 協力：神社本庁
写真出典元：陸上自衛隊HPより引用